

「拉致被害者救出運動」写真パネル展の御案内

1970年代から1980年代にかけて、北朝鮮当局に多くの日本人が拉致されました。

現在、日本政府は17名の日本人を拉致被害者として認定していますが、そのほかにも、拉致の可能性を排除できない失踪者が多く存在しています。この中には、都内に住んでいた方々や都内で失踪した方々が数多く含まれています。

平成14(2002)年10月に5名の拉致被害者の帰国が実現したものの、未だに多くの拉致被害者や失踪した方々の消息はつかめていません。

北朝鮮による拉致は、国民の生命と安全に関わる重大な人権侵害です。

拉致被害者・失踪者とその御家族の皆さんの願いはただ一つ、全員の一刻も早い救出です。

ここで展示している写真パネルは、拉致被害者や失踪者の御家族から写真の提供を受け、作成したものです。

写真パネル展を御覧いただいた皆さん一人ひとりが、拉致問題を自分自身の問題として考えてくださるようお願いいたします。こうした一人ひとりの想いが、政府を後押しし問題解決に向けた大きな力になると信じています。

東京都